Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-07-16

事前アンケート基本集計

神戸大学附属図書館

(Citation)
オンラインフォーラム『ILL/DD サービス 2.0 へ向けて』（令和 4 年度国立大学図書館協会近畿地区協会助成事業）

(Issue Date)
2023-01-27

(Resource Type)
conference object

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100478601

オンラインフォーラム「ILL/DDサービス2.0にむけて」事前アンケート基本集計

神戸大学附属図書館

本資料について

令和4年度国立大学図書館協会近畿地区協会助成事業「ILL/DDサービス2.0にむけて」に関連して、神戸大学附属図書館が実施したアンケート調査の基本集計です。

本編では単純集計可能な項目についてのみ、まとめています。自由記述項目や各設問の実際の回答数等は、末尾に添付していますアンケート集計結果の詳細をご覧ください。

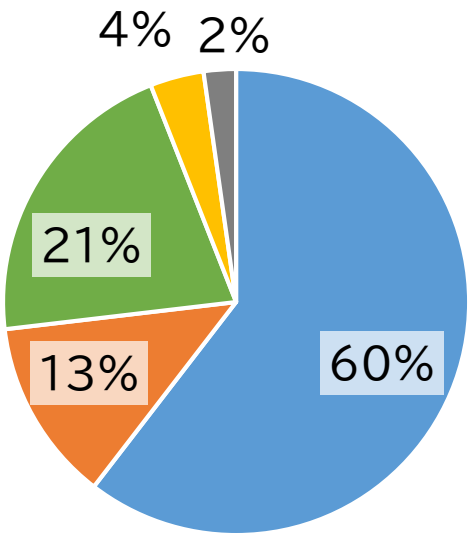
調査の概要

回答期間	2023年1月12日～2023年1月24日
方法	Webアンケート方式（Googleフォームを使用）
回答単位	個人（オンラインフォーラムの申込者）
回答数	136

※オンラインフォーラム申込時にアンケートフォームを設置して調査

回答者の基本情報

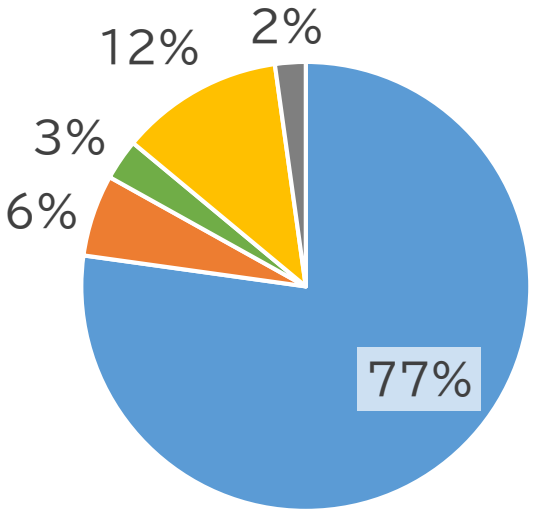
ILL複写業務の経験



- 国立大学図書館
- 公立大学図書館
- 私立大学図書館
- 大学以外の研究機関図書館
- その他

【問1-1】
回答数:134

ILL複写業務の経験

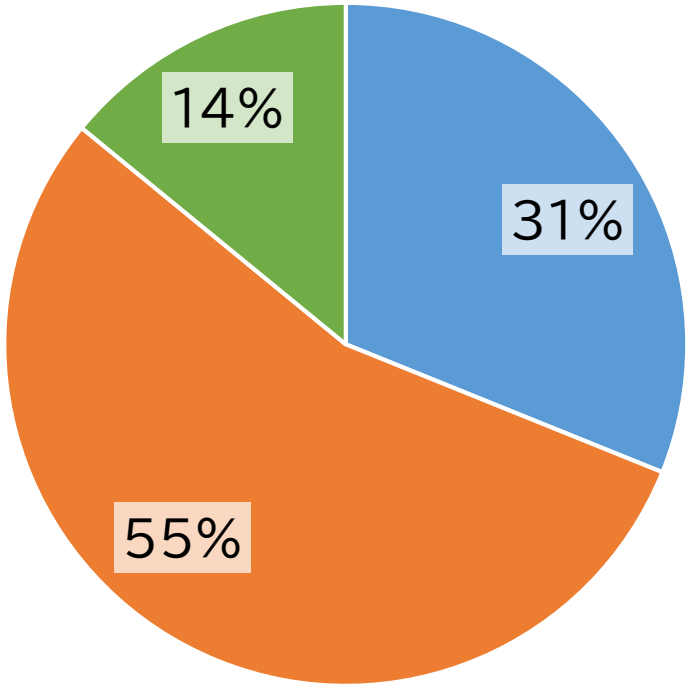


- 依頼・受付両方の経験がある
- 依頼のみ経験がある
- 受付のみ経験がある
- これまで担当したことがない
- その他

【問1-2】
回答数:136

民間の文献入手サービス活用実態について

所属機関でDDSを利用・契約しているか



- 利用(又は契約)している
- 利用(又は契約)していない
- わからない

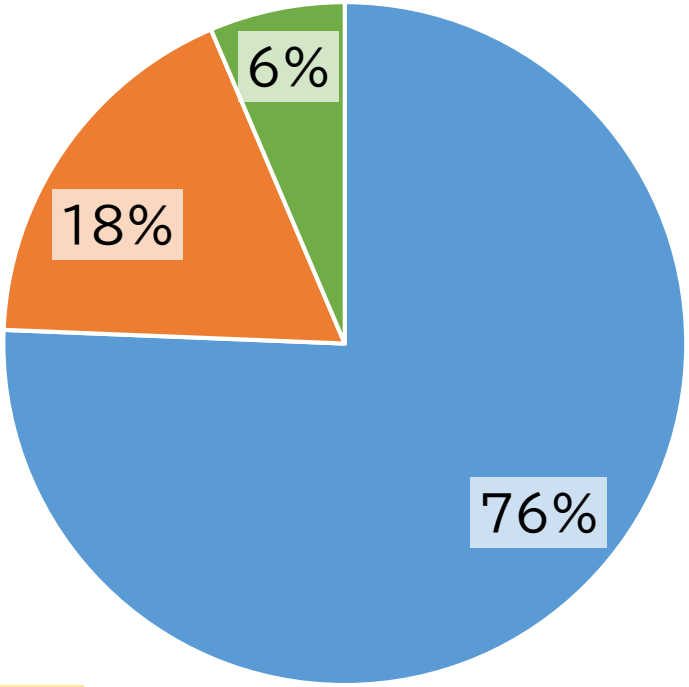
【問2-1】
回答数:135

利用可能なDDS ※順不同

- ARROW(サンメディア)
- JDreamIII複写サービス
- Reprints Desk(Research Solutions)
- 医中誌WebDDS(サンメディア)
- 日本医学図書館協会の会員向け複写サービス
- その他
  - Get It Now(丸善雄松堂)
  - RightFind
  - 学内eDDS

【問2-2】
回答数:66
※複数回答可

ILL以外の方法としての民間DDSの利用

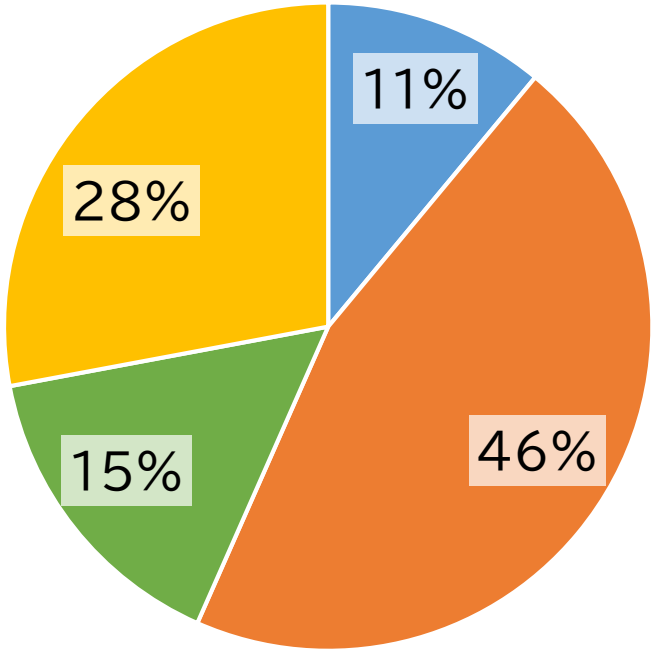


- DDSを案内していない
- 個人で申し込むよう案内している
- その他

【問2-3】
回答数:78

「図書館等公衆送信サービス」について

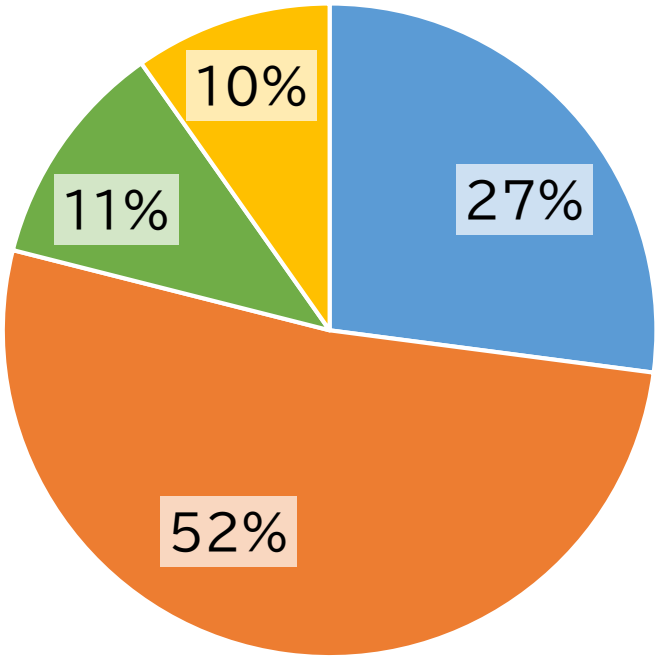
図書館等公衆送信サービス制度の実施を検討しているか



- 前向きに実施を検討している
- 実施するかどうか検討中である（未定）
- 現段階で実施の予定はない
- 把握していない

【問3-1】
回答数：136

図書館等公衆送信サービス制度のILLへの適用について

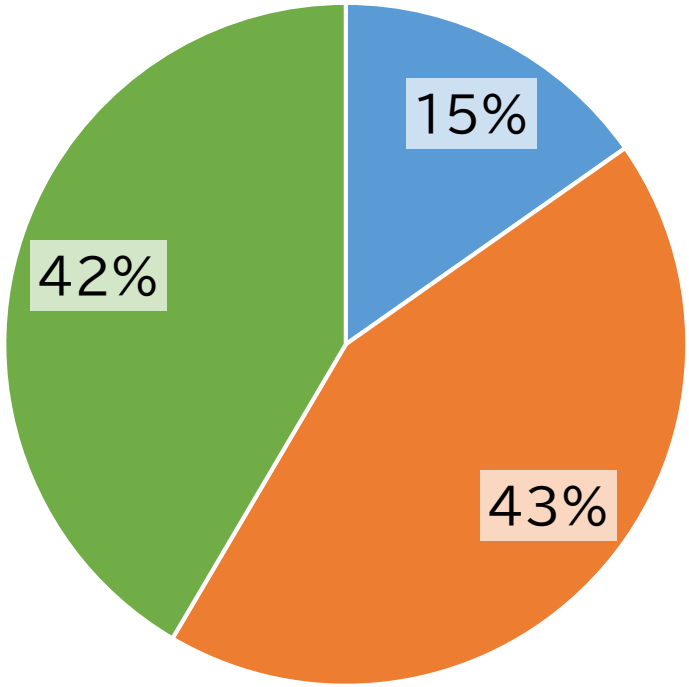


- 自機関利用者のみでいい
- ILLに適用(※)できるのが望ましい
  ※特定図書館間でのILLを想定
- どちらでもよい
- その他

【問3-2】
回答数:133

「学術著作権協会（JAC）管理著作物」の図書館間DDS活用度

DDSでの送付を依頼するか



- 積極的に行う
- やむをえない場合のみ行う（急を要する依頼等）
- 行っていない

【問4-1-1】
回答数:118

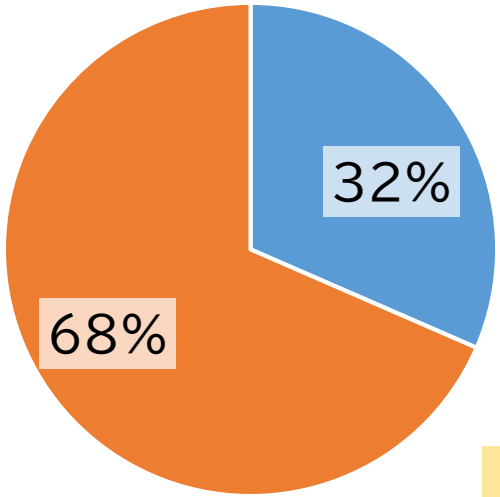
複写物のDDS送付依頼をためらう理由

電子的な送信が可能な資料か確認するのに手間がかかる	24%
受付館がDDS依頼に対応しているか確認するのに手間がかかる	16%
DDSの対応状況が不明な受付館が多い	14%
受付館担当者に手間をかけてしまうように思われる	11%
電子的な送信が可能な資料かどうかの確認方法がわからない	10%
DDS可能な制度自体を把握していない	9%
どのように依頼すればよいかわからない	6%
複写物の画質が悪い恐れがある	4%
とくになし	3%
その他	3%

【問4-1-2】
回答数：229
※複数回答可

複写物のDDS送付の受付

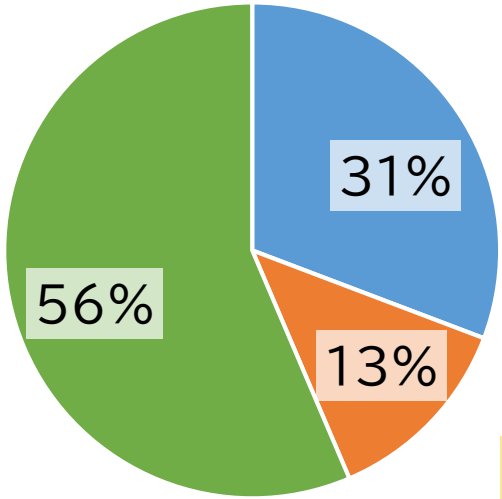
DDS送付依頼の受付



【問4-2-1】
回答数:111

- 受け付けている
- 行っていない

業務負担



【問4-2-2】
回答数:39

- DDSのほうが負担
- 郵送のほうが負担
- 同程度

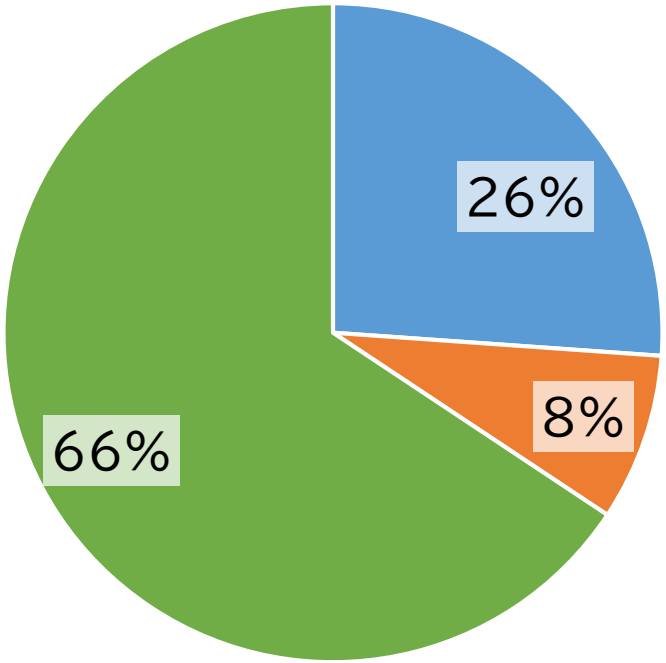
DDS送付依頼を受け付けていない理由

電子的な送信が可能な資料か確認するのに手間がかかる	35%
電子的な送信が可能な資料かどうかの確認方法がわからない	19%
DDS可能な制度自体を把握していない	19%
スキャナー等の設備が整っていない	9%
とくになし	9%
その他	8%

【問4-2-3】
回答数:108
※複数回答可

学内eDDS活用度

学内eDDS（図書館→利用者）の実施



- 実施している
- 実施を検討したことがあるが行っていない
- 行っていない（検討歴無しまたは不明）

【問5-1】
回答数：134

学内eDDSの課題

著作権法上の懸念がある	22%
「図書館等公衆送信サービス」との棲み分け	21%
支払方法に制限がある	16%
業務負担が大きい	9%
担当していないのでわからない	7%
サービスが十分周知されていない	6%
とくになし	13%
その他	4%

【問5-2】
回答数：67
※複数回答可

学内eDDSを行っていない理由

著作権法上の懸念がクリアできなかった	34%
担当者の業務負担	26%
セキュアに提供する環境を整えることが難しかった	18%
需要が見込めなかった	5%
その他	16%

【問5-3】
回答数:38
※複数回答可

決済方法/費用負担について

ILLの決裁や費用負担に関する取り組み

利用者の費用負担免除	53%
遠隔決済（現金書留）	25%
料金収納業務の委託	12%
キャッシュレス決裁	5%
遠隔決済（キャッシュレス）	5%

【問6-1】
回答数：81
※複数回答可

利用可能なキャッシュレス決済 ※順不同

- クレジットカード
- ICカード（交通系ICカードなど）
- スマホ決済（〇〇ペイなど）
- その他
  - 教員研究費

【問6-2】
回答数：13
※複数回答可

利用者負担免除の理由

電子ジャーナル等購読中止の救済措置	26%
文献アクセス環境向上のため	25%
料金徴収等窓口業務の負担軽減	14%
会計業務の負担軽減	13%
未所蔵文献の需要把握のため	6%
わからない	10%
その他	7%

【問6-3】
回答数：72
※複数回答可

事前アンケート集計結果詳細

【問 1-1】ご所属の区分について教えてください。

国立大学図書館	81
公立大学図書館	17
私立大学図書館	28
大学以外の研究機関図書館	5
その他（自由記述：　　）	3
合計	134

▼その他、自由記述の回答

- 公共図書館［回答数 2］
- 大学 非常勤講師

【問 1-2】ILL 複写業務を担当されたことがありますか。

依頼・受付両方の経験がある	105
依頼のみ経験がある	8
受付のみ経験がある	4
これまで担当したことがない	16
その他（自由記述：　　）	3
合計	136

▼その他、自由記述

- 担当者が不在時等のみ対応した経験がある
- 司書業務（ILL担当者）を行う委託社員の管理監督者
- 管理職の為、全て課員が担当

＜民間の文献入手サービス活用実態について＞

【問 2-1】ご所属機関で、ILL 以外の方法として、ドキュメント・デリバリー・サービス（DDS）を利用（又は契約）していますか。
＊日本医学図書館協会の会員向け複写サービスや、JDreamIII 複写サービスなどを含みます。

利用（又は契約）している	42
利用（又は契約）していない	74
わからない	19
合計	135

【問 2-2】問 2-1 で「利用（又は契約）しているできる」と回答した方
どのようなサービスを利用していますか。（複数回答可）

JDreamIII 複写サービス	4
ARROW（サンメディア）	14
Reprints Desk（Research Solutions）	29
日本医学図書館協会の会員向け複写サービス	11
医中誌 WebDDS（サンメディア）	4
その他 （自由記述：　　）	4
合計	66

▼その他、自由記述
- Get It Now（丸善雄松堂） ［回答数 2］
- 学内 eDDS
- RightFind

【問 2-3】問 2-1 で「利用や契約をしていないできない」と回答した方
ILL 以外の方法として、民間の DDS の利用を案内していますか。

個人で申し込むよう案内している	14
DDS を案内していない	59
その他 （自由記述：　　）	5
合計	78

▼その他、自由記述
- そのようなケースにあたったことがない
- 余り聞かれたことがない
- 現在担当ではないのでわからない。
- 現在、ILL 業務を担当していないため不明。
- 以前はやっていたが今はしていない

＜「図書館等公衆送信サービス」について＞

【問 3-1】所属機関では「図書館等公衆送信サービス」制度の実施について検討されていますか。

前向きに実施を検討している	15
実施するかどうか検討中である（未定）	62
現段階で実施の予定はない	21
把握していない	38
合計	136

【問 3-2】「図書館等公衆送信サービス」制度は、対象が自機関の利用者のみで ILL への適用が想定されていません。制度を利用するとした場合、この点についてどう考えますか。
※特定図書館間での ILL を想定（例特定図書館 A から特定図書館 B へ依頼→特定図書館 B から特定図書館 A の依頼者へメール送信）

自機関利用者のみでいい	36
ILL に適用（※）できるのが望ましい	69
どちらでもよい	15
その他 （自由記述：　　）	13
合計	133

▼その他、自由記述

- まずは自館からでよい
- ILL に適用できるのが望ましいが、支払は相殺の枠組みで完結させたいのと、メール添付送付は避けたい
- 国立国会図書館の個人送信のように、各館がオンラインのみで利用登録が完結するようにできれば、自機関利用者のみでも構わないのでは、と考えられる。ILL に適用する場合は、料金の徴収精算がネックになるように思う。
- ILL というよりも、ドイツの subito のように利用者が所蔵館を意識せずに申し込めて、所蔵館から直接申込者に DDS するようなシステムが効率よく理想的。
- ILLに適用できることが望ましいが、小さな図書館が参加しづらいことがないよう、可能な限り「特定図書館間」の規定を考えることが望ましいと感じている。
- 問題点がどこにあるかわからないので答えづらい
- 現段階ではどちらが良いか判断できない。
- わからない（判断がつかない）
- メリット、デメリットがまだ把握できていない。
- キャンパスが多いのでまず学内でやってみて上手くいけば学外に広げたい
- ILL にも適用できたら良いとは思うが、申込者の本人確認等、受付館の手間が増えそうだと思う
- 依頼者の利便性は高まると思うが、補償金のやり取りなど煩雑になると考えられるため、ILL に適用されても利用が難しいと感じる。（適用されれば実施していない館でも対応せざるを得なくなるかもしれませんが）

＜「学術著作権協会（JAC）管理著作物」の図書館間 DDS 活用度＞

【問 4-1-1】ILL 依頼を担当されている方（過去の経験者含む）
依頼文献が対象となっていた場合、DDS での送付を依頼しますか。

積極的に行う	18
やむをえない場合のみ行う（急を要する依頼等）	51
行っていない	49
合計	118

【問 4-1-2】問 4-1-1 で「やむをえない場合のみ行う」「行っていない」と回答した方
複写物の DDS 送付依頼をためらう理由は何ですか。（複数回答可）

とくになし	8
DDS 可能な制度自体を把握していない	20
どのように依頼すればよいかわからない	13
電子的な送信が可能な資料かどうかの確認方法がわからない	22
電子的な送信が可能な資料か確認するのに手間がかかる	54
DDS の対応状況が不明な受付館が多い	33
受付館が DDS 依頼に対応しているか確認するのに手間がかかる	37
複写物の画質が悪い恐れがある	10
受付館担当者に手間をかけてしまうように思われる	25
その他 （自由記述：　　）	7
合計	229

▼その他、自由記述

- NACSIS-ILL の受付館の条件として DDS 可否が存在しない。依頼館の印刷コストを利用者に転嫁できない。
- 利用者から速達指定があった時に利用している
- 利用料金が高額
- 日本円での請求金額（複写料金）確定に時間がかかるため。
- DDS 対応可能な館が限られるため、その館ばかりに依頼をしてしまうということを避けるため普段は利用しないようにしている
- 現在は貸借受付のみの担当なので分からない
- 急ぐ場合にのみ利用している（大まかな優先順位 DDS>速達>FAX）

【問 4-2-1】ILL 受付を担当されている方（過去の経験者含む）
複写物の DDS 送付依頼を受け付けしていますか。

受け付けている	35
行っていない	76

合計	111

【問 4-2-2】問 4-2-1 で「受け付けている」と回答した方
DDS 送付の際の作業量について、郵送と比べて業務量としてどちらが負担ですか。

DDS のほうが負担	12
郵送のほうが負担	5
同程度	22
合計	39

【問 4-2-3】問 4-2-1 で「行っていない」と回答した方
DDS 送付依頼を受け付けていない理由はなんですか。（複数回答可）

とくになし	10
DDS 可能な制度自体を把握していない	20
スキャナー等の設備が整っていない	10
電子的な送信が可能な資料かどうかの確認方法がわからない	21
電子的な送信が可能な資料か確認するのに手間がかかる	38
その他（自由記述：　　）	9
合計	108

▼その他、自由記述

- DDS を希望される依頼が来ないため
- 現行の法制度では手間がかかるうえにリスクも比較的高いと考えており、郵送の方が堅牢と判断している
- 研究室所在資料については対応が難しい。スキャナにプレビュー機能がないため、スキャン→PC で確認→問題があった場合は再スキャン→場合によってはファイルを合成など手数がかかりそう。
- 手間がかかる
- DDS での送付依頼が有ったことがない
- 国公私大図書館協会の参加館ではないため、自館で行うことができるかがわからない
- 手順等含め検討中
- 現在は貸借受付のみの担当なので分からない
- 著作権的な要件が分からず、行わないままになっている。

＜学内 eDDS 活用度＞

【問 5-1】学内 eDDS（図書館→利用者）を実施されていますか。

実施している	35
実施を検討したことがあるが行っていない	11
行っていない（検討歴無しまたは不明）	88
合計	134

【問 5-2】問 5-1 で「実施している」と回答した方
実施するなかで課題と感じられたことはありますか。（複数回答可）

とくになし	9
担当していないのでわからない	5
業務負担が大きい	6
サービスが十分周知されていない	4
著作権法上の懸念がある	15
支払方法に制限がある	11
「図書館等公衆送信サービス」との棲み分け	14
その他 （自由記述：　　）	3
合計	67

▼その他、自由記述

- 学内 eDDS を「図書館等公衆送信サービス」に切り替え予定であり、学内 eDDS は終了予定
- 利用者が使用について理解せず依頼しているので利用者教育が必要
- ILL 業務は他機関で経験しており当該機関では実施していなかったため回答不能。

【問 5-3】問 5-1 で「実施を検討したことがあるが行っていない」と回答した方
実施に至らなかった理由はなんですか。（複数回答可）

セキュアに提供する環境を整えることが難しかった	7
著作権法上の懸念がクリアできなかった	13
需要が見込めなかった	2
担当者の業務負担	10
その他 （自由記述：　　）	6
合計	38

▼その他、自由記述

- 業務マニュアルを作成し、担当者間で検討する余裕がない。
- 不明 ［回答数 2］
- 自分が配属されたときには既に廃止されていたので不明
- お金の決裁方法の整理がなされていない

- 令和 3 年著作権法改正で今後、学内 eDDS がどうなるか不明なため

＜決済方法/費用負担について＞

【問 6-1】ILL の決裁や費用負担に関する機関での取り組みについて、あてはまるもの全てを選択してください。（複数回答可）

利用者の費用負担免除	43
遠隔決済（現金書留）	20
料金収納業務の委託	10
キャッシュレス決裁	4
遠隔決済（キャッシュレス）	4
合計	81

【問 6-2】問 6-1 で「キャッシュレス決済」と回答した方
利用できる支払方法を教えてください（複数回答可）

大学生協の電子マネー	0
クレジットカード	5
IC カード（交通系 IC カードなど）	3
スマホ決済（〇〇ペイなど）	2
わからない	2
その他 （自由記述：　　）	1
合計	13

▼その他、自由記述

- 教員研究費

【問 6-3】問 6-1 で「利用者の費用負担免除」と回答した方
費用負担を免除した理由を教えてください（複数回答可）

文献アクセス環境向上のため	18
未所蔵文献の需要把握のため	4
電子ジャーナル等購読中止の救済措置	19
料金徴収等窓口業務の負担軽減	10
会計業務の負担軽減	9
わからない	7
その他 （自由記述：　　）	5
合計	72

▼その他、自由記述

- 部局で支払いしているため
- 新型コロナ対応（来館を極力減らす）。
- 現状、図書館運営費で負担できるため（依頼件数が少ないため）

- 学内者のみ費用負担免除
- すべての学生に活用してもらいため

＜NACSIS-ILL システムについて＞

【問 7】NACSIS-ILL の機能について課題と思われることはありますか。（自由記述）

- DDS 対応館のフラグがない。著作権クリアかどうかを機能内から確認できるようになるとよい。
- 著作権法の改悪
- 文献複写の依頼の際、電子ジャーナルの契約館を探すのに苦労します。
- NDL などのサービスなどとも併せて、総合的に見直す必要はある。
- DDS 可否による受付館抽出、研究室所在と図書館所在を分けた受付館抽出、電子ジャーナル契約情報及び ILL 可否による所蔵館（契約館）検索、カラー可否による受付館抽出、複写料金による受付館抽出 or 並び替え、PDF ファイルをアップロードして依頼館にダウンロード URL を知らせる DDS 機能、DDS 機能が備わりかつ ILL にも補償金制度が使えるようになった場合は補償金を代理決済する機能、RapidILL のような受付館を指定せずに館毎の受付数の調整をする機能などが備わるとよいと思います。
- 電子ジャーナルの ILL 対応可否等を円滑に確認できればよい。
- 使用する図書館システムに左右されないことが望ましい。
- ILL 依頼画面上で電子リソースが検索できるようになってほしい。
- 学外に複写を依頼する場合に、電子ジャーナルしかない場合に電子ジャーナルの他大学契約状況を調べることができない。
- WebUIP がいつまで使用できるか不安な点
- 電子ジャーナルの依頼が可能か不明な点。各館によって ILL ポリシーの記載方法が異なるためので確認しづらい。書式や項目を統一していただけると有難いです。
- 文献複写・現物貸借だけでなく訪問利用のための問い合わせ（紹介状発行）も併せてシステム化して頂けると有難い。
- 各館の電子ジャーナル・電子ブックの契約状況が不明。
- 各大学の手数料を一覧することができない。
- 国内他機関電子ジャーナルの契約状況を検索できないものが多いため、依頼したい時、所蔵機関調査に時間がかかる。
- 電子ジャーナルしかない場合、契約している大学・依頼を受付してくださる大学を探すのに手間がかかる。
- 以前のように海外との ILL も NACSIS-ILL から依頼できるととても助かる。
- ILL 依頼を行う際、受付館のポリシーを細かく読む必要があるが、ある程度共通している部分があるので、（DDS の可否、貸借の館外貸出等）、できれば項目を増やして検索や絞り込みが容易になると嬉しい。
- 一部の所蔵館に依頼が集中している。（料金設定が安価、資料の所蔵数が多い等のため）
- 同時に申込したい文献を全て所蔵する機関の検索。OA の有無をシステム内で確認できない。
- 紙にコピーした文献を送付するという方法のみに沿ったシステムであり、それ以外の方法は別途確認・手配する必要があるため、業務が煩雑になっている。
- 電子ジャーナルの複写依頼をするのが難しい

- 電子的資料の取扱いについて
- システム運用する組織に対し、実際の運用に関わる規則や協定を別の組織が担っているところが、担当者の理解不足やスキルアップ、ひいては利用者へスムーズなサービス提供を妨げる要因の一つではないかと思っています。担当者が適切に情報収集するのがこれまででしたが、末端の担当者にはそうした時間も機会も得られないのが最近の経済情勢でしょうか。ということで組織側の相互連携がそういったことを解消するのではと期待しています。
- 資料の電子媒体の増加・移行に伴い契約上の問題から発生する複写可能な資料の減少。
- レンディングポリシーについて、記述が各館の裁量に任されている部分が多い為、必要情報を探すのが難しい、または記載がない場合がある。電子資料の複写可否含め、記載をある程度統一すれば、事前に所蔵調査依頼をかける必要などが減ると思われる。
- 法的根拠が整ったら、クラウドで文献データをやりとりできるようになればいいと思います。
- ①海外の図書館や公共図書館等にも参加してもらえるとありがたい。②電子リソースで ILL 可の情報が冊子と同じレベルで調べられるとありがたい。

【事前アンケート】フォーラム「ILL/DD サービス 2.0 へ向けて」調査票

令和4年度　国立大学図書館協会近畿地区協会助成事業フォーラム「ILL/DD サービス 2.0 へ向けて」の事前アンケートです。
＊アンケートの設問は全部で7ページあります。（所要時間：5 分程度）
＊ご回答いただいた内容は、当該フォーラムの資料としてのみ利用させていただきます。
＊アンケート回答者の判断でご回答いただく形でかまいません。
＊アンケートの結果はフォーラム終了後に公表いたします。

【問 1-1】ご所属の区分について教えてください。
□　国立大学図書館
□　公立大学図書館
□　私立大学図書館
□　大学以外の研究機関図書館
□　その他（自由記述：　　）

【問 1-2】ILL 複写業務を担当されたことがありますか。
□　依頼・受付両方の経験がある
□　依頼のみ経験がある
□　受付のみ経験がある
□　これまで担当したことがない
□　その他（自由記述：　　）

＜民間の文献入手サービス活用実態について＞

【問 2-1】ご所属機関で、ILL 以外の方法として、ドキュメント・デリバリー・サービス（DDS）を利用（又は契約）していますか。
＊日本医学図書館協会の会員向け複写サービスや、JDreamIII 複写サービスなどを含みます。
□　利用（又は契約）している
□　利用（又は契約）していない
□　わからない

【問 2-2】問 2-1 で「利用（又は契約）しているできる」と回答した方
どのようなサービスを利用していますか。（複数回答可）
□　JDreamIII 複写サービス

□　ARROW（サンメディア）
□　Reprints Desk（Research Solutions）
□　日本医学図書館協会の会員向け複写サービス
□　医中誌 WebDDS（サンメディア）
□　その他（自由記述：　　）

【問 2-3】問 2-1 で「利用や契約をしていないできない」と回答した方
ILL 以外の方法として、民間の DDS の利用を案内していますか。
□　個人で申し込むよう案内している
□　DDS を案内していない
□　その他（自由記述：　　）

＜「図書館等公衆送信サービス」について＞

【問 3-1】所属機関では「図書館等公衆送信サービス」制度の実施について検討されていますか。
□　前向きに実施を検討している
□　実施するかどうか検討中である（未定）
□　現段階で実施の予定はない
□　把握していない

【問 3-2】「図書館等公衆送信サービス」制度は、対象が自機関の利用者のみで ILL への適用が想定されていません。制度を利用するとした場合、この点についてどう考えますか。
※特定図書館間での ILL を想定
（例特定図書館 A から特定図書館 B へ依頼→特定図書館 B から特定図書館 A の依頼者へメール送信）
□　自機関利用者のみでいい
□　ILL に適用（※）できるのが望ましい
□　どちらでもよい
□　その他（自由記述：　　）

＜「学術著作権協会（JAC）管理著作物」の図書館間 DDS 活用度＞

【問 4-1-1】ILL 依頼を担当されている方（過去の経験者含む）
依頼文献が対象となっていた場合、DDS での送付を依頼しますか。
□　積極的に行う
□　やむをえない場合のみ行う（急を要する依頼等）

□　行っていない

【問 4-1-2】問 4-1-1 で「やむをえない場合のみ行う」「行っていない」と回答した方
複写物の DDS 送付依頼をためらう理由は何ですか。（複数回答可）
□　とくになし
□　DDS 可能な制度自体を把握していない
□　どのように依頼すればよいかわからない
□　電子的な送信が可能な資料かどうかの確認方法がわからない
□　電子的な送信が可能な資料か確認するのに手間がかかる
□　DDS の対応状況が不明な受付館が多い
□　受付館が DDS 依頼に対応しているか確認するのに手間がかかる
□　複写物の画質が悪い恐れがある
□　受付館担当者に手間をかけてしまうように思われる
□　その他（自由記述：　　）

【問 4-2-1】ILL 受付を担当されている方（過去の経験者含む）
複写物の DDS 送付依頼を受け付けしていますか。
□　受け付けている
□　行っていない

【問 4-2-2】問 4-2-1 で「受け付けている」と回答した方
DDS 送付の際の作業量について、郵送と比べて業務量としてどちらが負担ですか。
□　DDS のほうが負担
□　郵送のほうが負担
□　同程度

【問 4-2-3】問 4-2-1 で「行っていない」と回答した方
DDS 送付依頼を受け付けていない理由はなんですか。（複数回答可）
□　とくになし
□　DDS 可能な制度自体を把握していない
□　スキャナー等の設備が整っていない
□　電子的な送信が可能な資料かどうかの確認方法がわからない
□　電子的な送信が可能な資料か確認するのに手間がかかる
□　その他（自由記述：　　）

＜学内 eDDS 活用度＞

【問 5-1】学内 eDDS（図書館→利用者）を実施されていますか。
□　実施している
□　実施を検討したことがあるが行っていない
□　行っていない（検討歴無しまたは不明）

【問 5-2】問 5-1 で「実施している」と回答した方
実施するなかで課題と感じられたことはありますか。（複数回答可）
□　とくになし
□　担当していないのでわからない
□　業務負担が大きい
□　サービスが十分周知されていない
□　著作権法上の懸念がある
□　支払方法に制限がある
□　「図書館等公衆送信サービス」との棲み分け
□　その他（自由記述：　　）

【問 5-3】問 5-1 で「実施を検討したことがあるが行っていない」と回答した方
実施に至らなかった理由はなんですか。（複数回答可）
□　セキュアに提供する環境を整えることが難しかった
□　著作権法上の懸念がクリアできなかった
□　需要が見込めなかった
□　担当者の業務負担
□　その他（自由記述：　　）

＜決済方法/費用負担について＞

【問 6-1】ILL の決裁や費用負担に関する機関での取り組みについて、あてはまるもの全てを選択してください。（複数回答可）
□　料金収納業務の委託
□　キャッシュレス決裁
□　遠隔決済（現金書留）
□　遠隔決済（キャッシュレス）
□　利用者の費用負担免除

【問 6-2】問 6-1 で「キャッシュレス決済」と回答した方
利用できる支払方法を教えてください（複数回答可）

□　大学生協の電子マネー
□　クレジットカード
□　IC カード（交通系 IC カードなど）
□　スマホ決済（〇〇ペイなど）
□　わからない
□　その他（自由記述：　　）

【問 6-3】問 6-1 で「利用者の費用負担免除」と回答した方
費用負担を免除した理由を教えてください（複数回答可）

□　文献アクセス環境向上のため
□　未所蔵文献の需要把握のため
□　電子ジャーナル等購読中止の救済措置
□　料金徴収等窓口業務の負担軽減
□　会計業務の負担軽減
□　わからない
□　その他（自由記述：　　）

＜NACSIS-ILL システムについて＞

【問 7】NACSIS-ILL の機能について課題と思われることはありますか。（自由記述）